

C O N T E N T S

・【特集：OTOTEN2017】
 「OTOTEN2017」を終えて今後に想うこと 会長 校條 亮治 P3
 OTOTEN2017・ラックスマンの取り組み 小嶋 康 P10
 日本発世界初4Kハイレゾライブストリーミング実証実験報告
 遠藤 真 金次 保明 P16

・【特集：ミュンヘン・ハイエンドショー2017】
 High End 2017 in Munich 森 芳久 P22
 High End 2017 in Munich 見学レポート 井谷 哲也 P30
 ミュンヘン・ハイエンド・訪問記 高松 重治 P47

・【連載：「試聴室探訪記」第33回】 ～谷口とものり、魅惑のパノラマ写真の世界～
 オーディオ仲間の集う店 サウンド西新(福岡市)
 谷口 とものり・森 芳久 P53

・【JAS インフォメーション】
 平成29年度通常総会報告
 平成29年度第2回(6月度)理事会報告・運営会議報告 P55

7月号をお届けするにあたって

酷暑の季節になりましたが、読者の皆様には熱中症等に気をつけて元気に夏を乗り切っていただきたいと思っております。本号ではまず5月に開催された「OTOTEN2017」の特集記事をまとめました。従来の展示会から方向性を変えて新生音展を目指そう、との意気込みで臨みましたが、改善すべき点多々あったかと思えます。最初に、全体を振り返っての総括を校條会長から報告させていただきました。久しぶりにオーディオ協会主催の展示会に出展いただいた「ラックスマンの取り組み」を同社の小嶋氏にまとめていただきました。会場で実験していただいた高性能ストリーミングの紹介を「4Kハイレゾ ライブストリーミング実証実験報告」としてNTTエレクトロニクスの遠藤氏と、NHKエンジニアリングの金次氏に寄稿いただきました。近未来のオーディオソースのあり方として、技術的にも興味を惹かれるテーマかと思えます。

ハイエンドオーディオの展示会として世界的に定評があり、活発な活動を続けている「ミュンヘン・ハイエンド・オーディオショー2017」を特集として取り上げました。永年に渡って参加され、度々訪問記も寄稿いただいている森氏に全体の様子をまとめていただきました。パナソニック井谷氏に詳細な見学レポートを、また、JASジャーナル編集委員でもある高松氏には、氏独自の視点からの訪問記を寄稿いただきました。予想以上に元気なアナログ技術の現状や、盛況な展示会の様子など、これからの音展を考える上でも大いに参考にすべきところが多々あるように感じました。

連載の試聴室探訪記では、福岡のオーディオ機器の老舗店を訪れました。

☆☆☆ 編集委員 ☆☆☆

(委員長) 君塚 雅憲 (国立科学博物館)

(委員) 穴澤 健明・稲生 眞 ((株) 永田音響設計)・遠藤 真 (NTTエレクトロニクス (株))

大久保 洋幸 ((一財) NHKエンジニアリングシステム)・高松 重治・春井 正徳 (パナソニック (株))・森 芳久
 八重口 能孝 (オンキヨー&パイオニアマーケティング (株))・山内 慎一 ((株) ディーアンドエムホールディングス)・山崎 芳男 (早稲田大学)